



茨城

茨城県小美玉市の 中小企業9社が力を結集 復興を願ってつくりあげた 「米粉クッキー」

小美玉市産業復興協議会

東日本大震災による被害は、県のほぼ中央に位置する小美玉市にまで及んだ。農業産出額が全国2位の茨城県でも、特に農業が盛んな同市。東京電力福島第一原発事故の影響による農作物の出荷制限は解除されたものの、消費者の放射性物質への不安は根強く、風評被害による農産物の買い控えは今も多大な影響を及ぼしている。

そんな中、イトウ製菓、美野里フーズ、ハーベストジャパン、木名瀬金重商店、宮内徳次郎商店、中藤精米、ケイマート美野里店、狩野自動車運送、美容室セットアップの9社から成る「小美玉市産業復興協議会」（茨城県小美玉市、内田義弘代表）が復興に向けて立ち上がった。同協議会は、復興事業計画を作成し、国の補助事業審査委員会の審査を経て、「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」に認定された。9社が取扱う商品やサービスは製造業から美容院まで多種多様だが、専門性を活かして協力し合うことで、市内産業界を支える企業群として存在感を示している。

同協議会が、地元小美玉の資源を活用した新商品の第一弾として開発したのが、小美玉産コシヒカリをふんだんに使用した「米粉クッキー」だ。味



「茨城おみやげコンクール」出展の様子

はプレイン・チョコ・ゴマの3種類。代表であるイトウ製菓が製造の中心を担うほか、各社が材料提供や広報活動、独自の販売網で力を発揮し、各社の社名がプリントされたパッケージからも9社の結束力が伝わってくる。3月下旬からは茨城空港での販売を開始する予定であり、茨城の新たな名産品として注目が集まる。自然あふれる小美玉で育ったコシヒカリの甘みと素朴な味わいを、ぜひお試しください。

また、早くも第二弾として、美容室セットアップが開発を手掛ける「米ぬか石鹸」の商品化計画が進行中だ。今後物産展への出展やコンクールへの出品等、地域の活性化に向け、精力的に活動していく。



月に1度の会議風景

お問合せ・ご注文は
電話：0299・58・
2411(平日8時～17
時)、メール：y-uchida@
mr-ito.com 様。